

日の出小学校



— 元気いっぱい 力を合わせて 日の出っ子 —

日の出小学校では27年度実施していた「ペア学年交流」を発展させ、28年度からは、1年生から6年生までが18チームに分かれて、一緒に遊んだり作品を作ったりする「ふれあい活動」を行っています。このふれあい活動をとおして学年が異なる子ども同士が声を掛けたり、放課に運動場で一緒に遊んだりする姿が多くなってきました。このような活動により、日の出っ子はよりよい人との関わり方について学んでいます。

また、昨年10月には愛知県道徳教育研究大会が本校で開催され、県内からたくさんの先生方が授業参観に来校されました。日の出っ子は普通の授業のように仲間の意見を聞いて考えを深めたり、自分の今の気持ちを素直に表現したりすることができました。

「ふれあい活動①」 チーム目標づくり



星に自分の名前を書きつけてね。きらきら星のように、日の出っ子一人ひとりが輝こう！

「ふれあい活動②」 室内遊び



ここで問題です。日の出小学校のマスコットキャラクターの名前は何でしょう。

「ふれあい活動③」 外遊び



お姉さんと遊ぶのは楽しいし、ふれあいタイムでは色々な遊びができてうれしな。

「ふれあい活動④」 金魚の水槽づくり



この飾りはどうかな。金魚が気持ちよく泳ぐことができようね。

道徳の授業①



仲間の意見を聞くこと、新しい発見があるね。もっと聞きたいなあ。

道徳の授業②



自分の考えを発表するところ、すっきりした気持ちになるよ。今日の道徳の授業はいいかな。

弥生小学校



食を大切にできる子の育成を目指して

子どもたちの成長にとって、食事や給食も大切な学習です。弥生小学校では、「学校給食」を生きた教材と考え、栄養教諭を中心に望ましい食習慣づくりを進めています。

だいすき、やとみ!



5年生では郷土料理の学習をしました。昔から伝わる伝統・文化を受け継いでいく気持ちを育てるのも食育の一つです。



郷土料理の「箱ずし」作りをしました。地域と食文化のつながりを学び、食べ物に対する感謝の気持ちを育みました。



給食委員会では、毎月一回給食の「郷土料理の日」に献立紹介を行っています。郷土料理とその土地との深いつながりに気づく機会になっています。

さわってみて、味わってみて



給食で使うえんどう豆のさやむぎをしました。このあと、弥生小のみんなの給食に変身します。実のつき方などいろいろな発見がありました。



「調理員さん、いつもありがとう。」給食室で使う特大のひしゃくを手にして、調理の疑似体験をしました。



お別れ給食では、卒業する子どもたちがバイキング形式で食べます。一食に必要な量を考えたり、次にとる友だちへの配慮の心を養います。

家庭とつながって



毎月、食にまつわるいろいろな話題を取り上げています。人気の献立のレシピを紹介することもあります。



年に一回、保護者に給食の試食をしていただき、調理の工夫や苦労を伝えています。



弥生小のホームページでは、「今日の給食」として、給食の写真に一言を添えて紹介しています。ぜひ、ご覧ください。